

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
	全体計画			経費区分	-	内線	3622
事務事業名	4302 創造の家管理事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	050104 労働費・労働諸費・勤労青少年ホーム創造の家費					
	事業	010000 創造の家管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
勤労青少年や市民の豊かで活力ある余暇活動の拠点として学習の場、交流の場として快適な環境で利用できるよう、施設の充実と活性化を図る。				須坂市スポーツ協会を指定管理者として、事業実施、施設管理を委託する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。	新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
新型コロナに対する対策を講じつつ、各種教室等の開催、施設の適切な維持管理を行い、市民の憩いの場を提供した。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。	各種教室等の開催、施設の適切な維持管理により、市民の憩いの場として有効利用されるよう取り組む。 次年度の指定管理者を選定する

指標名	勤労青少年ホーム創造の家施設利用者 総数				
算式	施設延べ利用者数+自主事業参加者				単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標		10,000	10,000	10,000
	実績		5,190		
指標選定の理由	勤労青少年以外の利用が比較的少ない昼間に民間団体等への貸館を行ない、施設の有効利用を図りながら市民の憩いの場として有効活用されるよう取り組むことから、施設利用者、自主事業参加者の総数を指標とした。				
最終年度	令和4年度はコロナ過のため、目標数値は定めない。				
目標の根拠	令和5年度以降はコロナ前に回復を目標とするため、コロナ前3年間の平均実績値を目標値とする				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度					
目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		12,242	14,294
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,242	14,294
人員数 (人)	正規職員	0.1	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	695.8	1,391.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	695.8	1,391.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		12,937.8	15,685.6

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	209	修繕料209
12節 委託費	11,850	指定管理委託料11,850
14節 工事請負費	183	軽運動室鏡設置工事183
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	0
10節 需用費	500	修繕料500
12節 委託費	12,831	指定管理者委託料12,831
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	963	備品購入費963

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	やや低い
評価コメント	<p>根拠法令改正を受けH27に条例改正、勤労青少年の福利向上のため市が独自に設置している状況。勤労青少年の福祉向上のために事業として継続する必要性は高いとは言えない。</p>	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	<p>H27に指定管理施設に移行し、その後施設の利用者は増加している。（コロナ禍の前は毎年延10,000人程度の利用あり） 事業内容が社会教育、生涯学習事業と似通っている部分があり、指定管理の内容を施設管理と自主事業のみにするなどの検討や、館内に配置のスポーツ振興係へ所管替をする方が効果的に実施できるのではと考えられる。</p>	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<p>老朽化した施設の長寿命化調査は実施済み。 大規模改修は行わず、必要な維持管理を実施し施設を活用していく方針。</p>	

振り返り（決算年度の取組み課題）

青少年を対象にした講座は一定程度の必要性はあるが、生活習慣の多様性や少子化の影響もあり、若者の参加はコロナ禍が明けた後、戻るかは不明。現状維持が妥当。
施設の老朽化が激しい。大型改修は費用面で難しいが、毎年いくらかの修繕が必要。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
<p>施設を長寿命化する予定はないが、廃止する方針もないことから、日々の点検により必要な修繕を実施する。</p>	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
<p>スポーツ協会の指定管理事業となっているが、時代に相応した事業を実施する必要がある。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	
<p></p>	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
	全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4306 文化活動振興事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100601 教育費・社会教育費・社会教育総務費										
	事業	030000 文化活動振興事業										
事業目的						事業概要・効果						
市民の文化芸術への関心を高めるとともに、市民の生き生きとした自主的な文化芸術活動や、優れた芸術鑑賞活動を支援し、豊かな市民生活を実現する。						<ul style="list-style-type: none"> ・「文化芸術振興ビジョン」の具体化 ・信州岩波講座の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう自主事業を支援 						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・「第22回信州岩波講座2020」の開催（コロナで中止） ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第23回信州岩波講座2021」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・文化芸術協会の活動支援
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・「第24回信州岩波講座2022」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・文化芸術協会の活動支援 ・キッズシアタープロジェクトを支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・「第25回信州岩波講座2023」の開催 ・子ども読書活動支援研究会の活動支援 ・文化振興事業団が行なう自主事業を支援 ・文化芸術協会の活動支援 ・キッズシアタープロジェクトを支援
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	メセナホールなど文化振興事業団管理施設利用者数						
算式	年間利用者数・入館者数					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	53,000	133,500	133,500	133,500		
	実績	92,725					
指標選定の理由	利用促進のための利用実績管理						
最終年度目標の根拠	令和4年度はメセナホール改修が完了したことから令和3年度実績35,726の約200%を目標数値とした。令和5年度以降はコロナ前に回復を目標とするため、コロナ前3年間の平均実績値を目標値とする。						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 予算
事業費		42,306	41,193
特定財源	国庫支出金	18,325	17,425
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	2,030	2,002
一般財源		21,951	21,766
人員数(人)	正規職員	0.1	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.8	0.8
人員コスト	正規職員	695.8	2,087.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,302.4	1,302.4
	計	1,998.2	3,389.8
市民一人当たりの経費		0.8	0.9
総額		44,304.2	44,582.8

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	356	消耗品費86、印刷製本費270
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	39,150	信州岩波講座共催負担金2,000、須坂キッズシアタープロジェクト負担金2,200、文化振興事業団自主事業補助金34,450、その他500
その他	2,800	報酬(会計年度任用職員)2,002、職員手当等(同左期末手当)396、共済費(同左)391、役務費(郵便料)11

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	414	消耗品費124、印刷製本費290
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	37,800	信州岩波講座共催負担金2,500、須坂キッズシアタープロジェクト負担金2,200、文化振興事業団自主事業補助金32,650、文化芸術協会負担金450
その他	2,979	報酬(会計年度任用職員)2,136、職員手当等(同左期末手当)410、共済費(同左)413、役務費(郵便料)20

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の文化芸術への関心を高め、豊かな市民生活を実現するため、指定管理施設の自主事業や、自主的な文化芸術活動や優れた芸術鑑賞活動を支援している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	文化振興事業団での自主事業、信州岩波講座、須坂キッズシアタープロジェクトの開催の他、文化芸術協会の活動等により、多種多様な文化芸術公演が行われ、市民の文化芸術に触れる大きな機会創出となっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	文化芸術活動は効率性だけでは測れないところがある。各種交付金等の財源確保に努めている。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

コロナ禍の影響が、緩和され、年間利用者数が目標を上回る92,752名であった。
外部団体等への負担金、補助金の交付についてはより支出の正当性、透明性が求められる。
地方創生交付金等の財源確保に努める。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き、文化・芸術・歴史を大切にしたい人づくり、まちづくりを推進する。		文化・芸術・歴史を大切にしたいまちづくりの推進のため継続していく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	窪田
	全体計画						経費区分		-		内線	245-0784
事務事業名	4311 図書館管理運営事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承											
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100603 教育費・社会教育費・図書館費										
	事業	020000 図書館管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
生涯学習の一環として、市民誰もが気軽に利用できるよう図書館事業を推進する。						図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催をととした市民の生涯学習活動の支援						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等について、コロナ禍の中にあっても、対策をしながら可能な限りできた。市町村と県による協働電子図書館に参加し、2022年8月から利用を開始した。	図書等の収集、蔵書整理、貸出、レファレンス等の一般的図書館業務及び講座、行事等の開催、施設管理等を行う。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	年間入館者						
算式	令和3年度実績から年5%の増					単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	115,680	66,893	70,237	73,748	77,435	
	実績	63,708	70,785				
指標選定の理由	多くの方に利用していただくことが重要であるため。						
最終年度目標の根拠	平成26年度利用者数（115,105人）より、年0.5%ずつの増※コロナ禍の影響を考慮し、令和3年度実績から年5%の増に目標変更						
指標名	年間貸出冊数						
算式	令和3年度実績から年4.5%の増					単位	冊
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標		232,562	243,027	253,963	265,391	
	実績	222,548	225,908				
指標選定の理由	コロナ禍の影響により、貸出方法を変更することもあるが、令和4年8月に運用開始する協働電子図書館も含めて、多くの方に図書館を利用し、読書に親しんでいただくことが重要であるため						
最終年度目標の根拠	2018(平成30)年度貸出冊数（265,330冊）の近似値						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		50,909	53,837
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,050	10,084
一般財源		40,859	43,753
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	9.9	9.9
人員コスト	正規職員	1,391.6	1,391.6
	会計年度(フル)	3,504.0	3,504.0
	会計年度(パート)	16,117.2	16,117.2
	計	21,012.8	21,012.8
市民一人当たりの経費		1.4	1.4
総額		71,921.8	74,849.8

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	130	講師謝礼及びボランティア団体への謝礼130
10節 需用費	4,764	消耗品費585、燃料費19、食糧費16、光熱水費3,549、印刷製本費168、修繕料427
12節 委託費	3,877	保守点検委託料2,168、施設管理委託料520、ほか1,189
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	310	県公共図書館部会・支部負担金16、須高図書館協会負担金265、日本図書館協会負担金23、ほか6
その他	41,828	報酬15,067、役務費454、使用料及び賃借料5,409、備品購入費11,000、ほか9,898

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	180	講師謝礼及びボランティア団体への謝礼180
10節 需用費	5,435	消耗品費585、燃料費51、食糧費20、光熱水費4,083、印刷製本費40、修繕料656
12節 委託費	3,763	保守点検委託料1,877、施設管理委託料531、ほか1,355
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	511	県公共図書館部会・支部負担金18、須高図書館協会負担金265、日本図書館協会負担金23、電子図書館事業負担金186、ほか19
その他	43,948	報酬15,501、役務費518、使用料及び賃借料6,403、備品購入費11,114、ほか10,412

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民の生涯学習の支援は必要であり、図書の貸出や学習場所の提供は必要であると考えます。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	年間来館者数についてコロナ禍の影響を考慮して目標変更したが、令和4年度は目標を達成することができた。感染症対策をとりながら、さまざまな年代や分野のイベントを開催し、図書館への来館機会の増につながった。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	施設の狭さや老朽化など課題がある中で工夫して運営している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

年間貸出冊数の増については目標達成できなかった。令和4年8月に運用開始した協働電子図書館についても利用を促進していく必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

図書館は自ら学ぶ、生涯学習に必要な施設である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

図書館の原点に立ち、学びの支援と活字文化の継承に継続的に取り組んでいく必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	窪田
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	245-0784
事務事業名	16798 図書館整備事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	100603 教育費・社会教育費・図書館費					
	事業	030000 図書館整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
生涯学習の一環として、市民誰もが気軽の利用できるよう図書館施設の長寿命化を図る				公共施設等適正管理推進事業債を活用し、老朽化している図書館の長寿命化改修を行う。 (2022年度に設計、2023年度に工事)			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
-	-
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
公共施設等適正管理推進事業債を活用し、老朽化している図書館の長寿命化改修の設計を行った。	公共施設等適正管理推進事業債を活用し、図書館長寿命化改修工事を行う。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		3,278	106,450
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	2,900	95,800
	その他	0	0
一般財源		378	10,650
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	695.8	695.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	695.8	695.8
市民一人当たりの経費		0.1	2.0
総額		3,973.8	107,145.8

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	3,278	図書館長寿命化改修設計業務委託3,278
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	106,450	図書館長寿命化改修工事106,450
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	建物屋根や外壁等は経年劣化や長雨等により早急な改善が必要。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設が今後も安全に使用できるよう改修する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	より長期の使用に耐えられるように改修を行うことで、施設の有効活用につながる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
老朽化している図書館を今後も長く使用していくための改修設計を行うことができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
利用者の利便性と安全を確保するため、適正な維持管理に努める。		図書館を長く使用するため、施設の維持管理に努める。 。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	中澤和久
	全体計画			経費区分	-	内線	026-246-7100
事務事業名	4313 博物館管理運営事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100604 教育費・社会教育費・博物館費					
	事業	020000 博物館管理運営事業					
事業目的				事業概要・効果			
貴重な文化財を広く展示公開し、市民の学習に資する。 須坂市の歴史、文化財について調査研究を進める。 各種講座等を開催して、生涯学習に対する多種多様な 市民ニーズに応える。				まるごと博物館の実現に向けて、機能分散型総合博物 館拠点である博物館本館（現博物館）及び博物館別館 （笠鉾会館）において、資料の収集・保存及び調査研 究活動等を行い、特別展等の開催や各種講座・講演会 等の事業を推進し、市民の生涯学習の場とするととも に来館者の回遊性を高める。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
「機能分散型総合博物館」構築 収蔵品整理、館外講座「臥竜山たんけん」参加者68人	「機能分散型総合博物館」構築 収蔵品整理、館外講座「臥竜山たんけん」（本館）、 企画展示（分館）
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
まるごと博物館構想の具現化 企画展示、館外講座「臥竜山たんけん」（全11回）、ワ ークショップ（全5回）、小学校等学習支援、ボランテ ィア・研修等受入、各種団体との連携	まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域・団体との連携協力、デジタルアーカイブ 学校への学習の支援
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域・団体との連携協力 学校への学習の支援	まるごと博物館構想の具現化 各種企画等の開催（企画展示、講座・講演会） 地域・団体との連携協力 学校への学習の支援

指標名	年間入館者数（市立博物館）				
算式	年0.5%の増				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5,858	5,887	5,916	5,946
	実績	4,989	6,603		5,976
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	平成26年度実績値（5,657人）より、各年0.5%ずつの増				
指標名	年間入館者数（笠鉾会館）				
算式	年0.5%の増				単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	5,858	5,887	5,916	5,946
	実績	2,136	3,623		5,976
指標選定の理由	常設展示の充実を図るとともに、特別展示等を行い、市民が歴史・文化・芸術に親しむ機会を提供する。				
最終年度目標の根拠	令和3年度 市立博物館と同実績値（5,858）とし、各年0.5%ずつの増				
指標名					
算式					単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

（単位：千円）

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		47,205	43,982
特定財源	国庫支出金	1,500	1,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,358	6,004
一般財源		35,347	36,478
人員数（人）	正規職員	1.1	1.1
	会計年度（フル）	1.4	1.4
	会計年度（パート）	0.7	0.7
人員コスト	正規職員	7,653.8	7,653.8
	会計年度（フル）	4,905.6	4,905.6
	会計年度（パート）	1,139.6	1,139.6
	計	13,699.0	13,699.0
市民一人当たりの経費		1.2	1.1
総額		60,904.0	57,681.0

（単位：千円）

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	271	講師謝礼181、展示品借用・指導等謝礼・委員等謝礼90
10節 需用費	8,287	消耗品費1,061、燃料費78、印刷製本費709、光熱水費5,607、修繕料832ほか
12節 委託費	8,676	警備保障委託996、エレベーター等保守点検委託料2,636、無線通信環境整備委託料2,044、博物館魅力向上委託事業3,000
14節 工事請負費	860	工事請負費860
18節 負担金補助及び交付金	26	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）ほか26
その他	29,085	報酬7,451、給料4,985、職員手当2,005、共済費2,358、旅費229、役務費1,388、使用料及び賃借料671、備品購入費9,992、公課費6

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	600	講演会・講座等講師謝礼330、収蔵品整理指導等謝礼270
10節 需用費	9,963	消耗品費1,079、燃料費100、印刷製本費3,016、光熱水費5,528、修繕料200、食糧費40
12節 委託費	8,451	館内警備保障委託1,194、エレベーター等保守点検委託2,882、博物館魅力向上事業委託3,000、館外樹木剪定・伐採委託1,375
14節 工事請負費	50	博物館テレビ配線工事50
18節 負担金補助及び交付金	156	博物館協議会負担金（全国・北信越・県）23、きのこ展共催負担金ほか133
その他	24,762	報酬8,618、給料5,103、職員手当2,841、共済費2,899、旅費554、役務費2,612、使用料及び賃借料543、備品購入費1,585、公課費7

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	市民が歴史、芸術、民族、産業、自然科学等に親しむこと、また、その生涯にわたる学習に資することを目的に講座活動を実施している。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	市民が地域についての理解と関心を深めるため、「臥竜山たんけん」や館外での講座支援を実施した。小学校の学習を支援し、古墳の現地見学や実資料を用いた各学校での出前授業を行うことで、まると博物館の具現化に取り組んだ。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	職員の工夫による、臥竜公園ガイドツアーや、ワークショップによりコストを削減しながら、さらに成果を生み出した。 必要な活動には充分に経費をかけながら、連携や支援により低コストで成果を生めるよう工夫した。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

一昨年のリニューアル以後、機能分散型博物館の構築を引き続き進めた。また、SNSを活用し博物館の講座や企画展示等の周知を図り、入館者数の増加に努めた。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続きまるごと博物館構想に取り組み、市民に学習の機会を提供していく。		まるごと博物館構想を推進するため、市民や地域と一体となる取組みが必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中村 紀子
		全体計画		令和 5年度	～			経費区分		—		内線	3623
事務事業名	4314 文化財調査研究事業												
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課												
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費											
	事業	010000 文化財調査研究事業											
事業目的						事業概要・効果							
文化財の保護事業を展開し、よりよい保護、活用施策を講じるために、調査及び研究を行う。						包蔵地内の土木工事等に伴う埋蔵文化財の調査確認等を実施して記録保存を行う。また文化財審議委員会を開催し、新たな市指定文化財の指定等による文化財の保護や、文化財保存活用倉庫の収蔵資料整理の活用のため調査・整理を行う。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施した。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の適切な保護に努めた。また重伝建選定を目指し調査報告書を刊行するとともに、条例の制定や都市計画との調整を進めた。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施した。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の解除を行った。重伝建選定を目指し、保存条例を制定して保存審議会を設置し地域の合意形成に向けた説明会を実施した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施し、適切な保護を実施した。	埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い埋蔵文化財の調査確認等を実施する。文化財審議委員会を開催し、市指定文化財の新指定に向けて研究を進める。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		20,033	26,473
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	87	1,837
一般財源		19,946	24,636
人員数 (人)	正規職員	0.8	1.0
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	1.9	0.9
人員 コスト	正規職員	5,566.4	6,958.0
	会計年度(フル)	3,504.0	3,504.0
	会計年度(パート)	3,093.2	1,465.2
	計	12,163.6	11,927.2
市民一人当たりの経費		0.6	0.7
総額		32,196.6	38,400.2

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,585	埋蔵文化財等消耗品345、発掘調査報告書印刷500、燃料費184、埋蔵文化財整理室光熱水費306、修繕費250
12節 委託費	3,711	遺構測量委託1,990、発掘調査に係るシルバー委託費1,176、文化財説明看板設置522、コピー機保守23
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2	文化財保護協会負担金2
その他	14,735	会計年度任用職員報酬・手当13,286、重機等借上料1,011、ほか438

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	172	文化財調査指導等謝礼172
10節 需用費	2,818	埋蔵文化財伝建等消耗品600、埋蔵文化財調査報告書印刷525、埋蔵文化財整理室光熱水費335、修繕費1,150、燃料費200、食糧費8
12節 委託費	4,000	発掘調査に係るシルバー委託費2,000、遺構測量2,000
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	105	文化財保護協会負担金2、県立歴史館連携協定負担金100、史跡整備等市町村協議会負担金3
その他	19,378	会計年度任用職員報酬・手当13,667、重機等借上料4,191、備品購入765、ほか755

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	埋蔵文化財の保護や発掘調査は行政が確実に主体的に行わなければならない事業である、	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	開発事業に伴う埋蔵文化財の破壊を防ぎ、遺跡内で工事等が行われる場合は適切に記録保存をしている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	埋蔵文化財の調査・記録・保存にはある程度の費用が必要となる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

埋蔵文化財包蔵地内の土木工事等に伴い、埋蔵文化財の調査確認等を実施し、適切な保護が図られた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

埋蔵文化財の調査確認事業は、法的根拠に基づく行政の重要な事業である。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

埋蔵文化財の調査結果を学びに活かしていくことが必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/> 評価対象 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 完了事業 <input type="checkbox"/> ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>					担当者	中村 紀子
	全体計画		経費区分	-		内線	3623
事務事業名	4315 文化財保存活用事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費					
	事業	020000 文化財保存活用事業					
事業目的				事業概要・効果			
文化財を、本来の姿に近いかたちで後世に伝えるとともに、その文化財が、市民にとって身近なものとなるよう、文化財の調査研究及び、指定文化財の公開を行い、すべての情報を学習教材としてわかりやすく市民に提供し、文化財を愛護し生かす。				「旧越家住宅」、「旧園里学校」等の適切な維持管理等により文化財を保護するとともに、デジタルアーカイブの充実や、市ホームページ・各種メディアへの情報発信や、各種講演などによる文化財の活用を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
各種情報発信と、文化財の維持管理と活用により文化財の保存と活用を図った。 既存の文化財検索サイトを「須坂のまると博物館」サイトにリニューアルし、内容を充実させた。	「須坂のまると博物館」サイトとアプリを活用して文化財の情報発信を行った。文化財の適切な維持管理を行って文化財の保存と活用を図った。文化財を管理する個人に対し、補助を実施した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
各種情報発信と、文化財の維持管理、保存、活用を図った。 史跡見学者のためのトイレや標柱を修繕し環境整備を行った。	各種情報発信と、文化財の維持管理、保存、活用を進める。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	デジタルアーカイブ「信州須坂のおたから」による文化財などの公開						
算式	累計公開件数					単位	件
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	930	950	970	990	1,000	
	実績	910	923				
指標選定の理由	地域の歴史文化の保存活用						
最終年度目標の根拠	令和3年度の実績に合わせて目標値を見直した						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		9,176	10,323
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	614	2,403
一般財源		8,562	7,920
人員数(人)	正規職員	0.8	0.9
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.8	0.8
人員コスト	正規職員	5,566.4	6,262.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,302.4	1,302.4
	計	6,868.8	7,564.6
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		16,044.8	17,887.6

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	488	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼488
10節 需用費	1,610	文化財各種修繕873、旧越家住宅・文化財保存活用倉庫光熱水費612、消耗品70、燃料費50、食糧費5
12節 委託費	2,053	文化財公開維持管理に係る委託1,098、保存活用倉庫等警備委託225、樹木等伐採委託335、除草等シルバー委託395
14節 工事請負費	1,298	史跡見学者用トイレ洋式化工事1,298
18節 負担金補助及び交付金	574	文化財保存活用補助金574
その他	3,153	会計年度職員手当・共済費2,638、役務費361、土地等借上げ117 その他37

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	550	文化財維持管理に係る各種団体等への謝礼及び文化財調査謝礼495、各種講座等での講師謝礼55
10節 需用費	2,109	文化財各種修繕等1,210、旧越家住宅・文化財保存活用倉庫光熱水費741、消耗品90、燃料費56、食糧費12
12節 委託費	2,110	文化財公開維持管理に係る委託1,129、文化財倉庫に係る警備委託231、樹木伐採委託250、除草等シルバー委託500
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	1,800	文化財保存活用補助金1,800
その他	3,754	会計年度任用職員報酬・手当・保険2,796、役務費517、備品購入275、土地等借上げ118 その他48

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	文化財の保存と活用は行政が主体的に取り組む必要がある。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	あまり有効ではない
評価コメント	文化財の保存活用は長い時間をかけて継続的に実施していくものであり、目に見える成果や課題解決に至らないことが多い。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	文化財の保存には、維持管理・修繕などにある程度の費用をかけなければならない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

指定文化財の保護、各種施設の管理を適切に行った。公衆トイレを洋式化し、利用者への便を図った。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

文化財保護という第一義的な事業を進めながら、市民に文化財を知ってもらうことも必要か。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

保存を基本に、文化財への親しみや理解を進めていくことが不可欠である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	寺沢 隆宏
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3622
事務事業名	16850 伝統的建造物群保存事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100605 教育費・社会教育費・文化財保護費										
	事業	030000 伝統的建造物群保存事業										
事業目的						事業概要・効果						
国の重要伝統的建造物群保存地区における修理・修景事業を進め、歴史的町並みの保存活用を図る。						歴史的町並みの保存・活用のため、国の重要伝統的建造物群保存地区への選定を目指し、地域との合意形成、文化庁との連携を進める。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 制度概要説明用パンフレット制作、住民向け説明会開催(町別説明会5回、住民向け制度説明会 4回) 文化庁との協議 (3年度まで文化財調査研究事業にて対応)
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 対象地区住民個別訪問による説明、意向確認実施 保存活用計画策定 文化庁との協議 (4年度から重伝建推進係を新設し、伝統的建造物群保存事業予算により対応)	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 3回 特定物件同意書提出集約 文部科学大臣への選定申出
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
国文化財保存審議会選定諮問・答申 重伝建地区選定の決定・告示 伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 保存活用計画に基づく修理・修景事業補助による支援 文化庁報告	伝統的建造物群保存地区保存審議会開催 保存活用計画に基づく修理・修景事業補助による支援 文化庁報告

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		2,748	4,600
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		2,748	4,600
人員数(人)	正規職員	0.8	1.7
	会計年度(フル)	0.9	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	5,566.4	11,828.6
	会計年度(フル)	3,153.6	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	8,720.0	11,828.6
市民一人当たりの経費		0.2	0.3
総額		11,468.0	16,428.6

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	4	重要伝統的建造物群保存地区制度アドバイス謝礼 4
10節 需用費	13	消耗品費 7 食糧費 6
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,731	審議会委員報酬 107、会計年度任用職員報酬 1,887、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員費用弁償 21、普通旅費 102 その他 614

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	86	重要伝統的建造物群保存地区制度アドバイス謝礼 86
10節 需用費	36	消耗品費 30 食糧費 6
12節 委託費	660	特定物件建物調査 660
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	15	制度研修会出席負担金 15
その他	3,803	審議会委員報酬 221、会計年度任用職員報酬 2,031、伝統的建造物群保存地区保存審議会委員費用弁償 362、普通旅費 308 その他 881

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	歴史的価値の高い建造物を次世代に継承する必要がある	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	対象地区の町別説明会を実施するほか、個別訪問し、制度の周知理解を進めている	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	国庫の財源を有効に活用し、有効な補助制度となるよう、補助要綱案を審議会において協議いただいている	

振り返り（決算年度の取組み課題）

歴史的価値のある建造物を地区として次世代に継承するため、国の「重要伝統的建造物群保存地区制度」の選定を受けるにあたり、地区住民をはじめ、市民への制度周知と理解を進めている。また、補助要綱や保存活用計画についても審議会において協議し、選定に向けた事務事業は順調に進んでいる。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

国の選定に向け、必要な事項を一つ一つ着実にクリアしている。

2次評価コメント

須坂にしかない歴史的景観を後世に残していくため、国の指定を受ける。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
		全体計画						経費区分		-		内線	3622
事務事業名	4320 文化施設管理事業												
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課												
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費											
	事業	010000 文化施設管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
須坂市文化会館、須坂版画美術館などの芸術文化施設を有効に活用した、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の充実に向け事業を推進する。						<ul style="list-style-type: none"> ・須坂市文化会館、美術館等文化施設の管理運営は、指定管理者の一般財団法人須坂市文化振興事業団が行なう。 ・「須坂市文化芸術振興ビジョン」に基づき、芸術文化施設の充実を図る。 							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
文化芸術施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った。笠鉾会館ドリームホールを博物館分館とするため、2021年3月31日で指定管理者による管理を終了とした。	文化芸術施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
芸術文化施設の有効、市民の自主的な文化活動の育成とともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行った。ふるさと納税型CFにより、展示資料の充実、文化施設の修繕等を行った。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。 メセナホール及び美術館等について、次年度の指定管理者選定を行う。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。	芸術文化施設を有効に活用し、市民の自主的な文化活動の育成を図るとともに、文化環境の向上、芸術文化施設の維持管理を行う。 旧小田切家住宅について、次年度の指定管理者選定を行う。

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		194,663	191,048
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	151,638	157,348
一般財源		43,025	33,700
人員数(人)	正規職員	0.3	0.5
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,087.4	3,479.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,087.4	3,479.0
市民一人当たりの経費		3.8	3.7
総額		196,750.4	194,527.0

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4,325	修繕料4,325
12節 委託費	167,321	支障木伐採委託料328、看板作成委託5,303、指定管理者委託料(文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅)161,690
14節 工事請負費	451	牡丹花壇増設工事451
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	22,566	使用料及び賃借料(土地借上料、機器賃借料)15,155、備品購入費(除湿器、展示資料)7,411

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	4,019	光熱水費（電気料、水道料、下水道使用料）19、修繕料4,000
12節 委託費	167,746	指定管理者委託料（文化会館、美術館等文化施設、笠鉾会館、旧小田切家住宅）161,690、支障木伐採委託料3,185、その他2,871
14節 工事請負費	2,145	クラシック美術館照明LED化工事2,145
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,138	手数料2、使用料及び賃借料15,136（土地借上料、機器賃借料）、備品購入費2,000（展示資料等購入費）

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	指定管理者の一般財団法人須坂市文化振興事業団において、経験豊富な人材を活用し、各種コンサート、講座等の事業を執り行っている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	指定管理者制度導入から10数年が経過し、制度自体の理解を含む制度運用自体の見直しが必要。市直営施設との連携が難しい、直接の指示が難しい（お願いとなる）など指定管理であるデメリットについて、次回の指定管理選定及び基本協定策定等において、検討が必要。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続き指定管理者とともに施設の維持管理を行っていく。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

各施設の老朽化が進んでおり施設管理が大変になっている。
軽微な修繕では済まない事例も散見され、今後の維持管理費の在り方等に再検討が必要。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続き施設の適正管理に努める。		老朽化した施設もあることから、より良い施設管理に努める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井 裕清
全体計画		平成30年度	～	令和 2年度		経費区分		実施計画事業費		内線	3622
事務事業名	10721 文化施設整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100610 教育費・社会教育費・文化施設管理費									
	事業	020000 文化施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
所管する文化施設が建設から年数が経過し、改修の時期を迎えているため計画的に必要な改修を実施する。						老朽化の解消や法改正に対応する改修を実施し、今後も施設が安全・快適に利用することが可能となる。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 笠鉾会館展示改修工事 笠鉾会館エレベータ改修工事 長寿命化基本調査（笠鉾・版画・人形）	メセナホール非構造部材耐震化・長寿命化等工事 世界の民俗人形博物館長寿命化工事
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
アートパークイベント広場整備工事 世界の民俗人形博物館北側遊歩道工事	アートパークイベント広場整備工事（第2期） アートパークイベント広場バリアフリートイレ設置工事 版画美術館長寿命化改修工事設計
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		34,980	65,353
特定財源	国庫支出金	17,023	2,500
	都道府県支出金	0	0
	地方債	15,300	39,400
	その他	935	22,741
一般財源		1,722	712
人員数(人)	正規職員	0.1	0.3
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	695.8	2,087.4
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	695.8	2,087.4
市民一人当たりの経費		0.7	1.3
総額		35,675.8	67,440.4

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	1,980	アートパークイベント広場(測量設計)業務委託1,980
14節 工事請負費	33,000	アートパークイベント広場工事32,065 人形博物館北側遊歩道工事935
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	9,983	アートパークトイレ工事設計監理業務委託2,600、アートパーク物置設置工事設計監理業務委託871、版画美術館長寿命化工事設計業務委託6,512
14節 工事請負費	54,943	イベント広場整備工15,000、アートパークトイレ設置工事31,000、アートパーク物置設置工事8,943
18節 負担金補助及び交付金	330	水道事業分担金330
その他	97	手数料（確認申請・完了検査）97

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	旧学校給食センター跡地の未利用地をイベント広場兼駐車場として整備しアートパークと一体的に活用する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	イベント等の開催において、イベント広場兼駐車場整備により、観光客、利用者の利便性向上につながる。同時に実施する雑木の伐採、伐根による周辺環境の向上につながっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	交付金等の財源を有効活用し実施。 今後必要となる大規模改修の財源確保が課題。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

アートパークイベント広場工事の第1期工事が予定通り完了した。
引き続き令和6年度の供用開始に向けて整備を実施する。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設の安全性を確保しつつ、施設の長寿命化を図っていく。		施設の安全性を最優先し、施設の整備を進める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	中澤 公明
	全体計画						経費区分		経常的経費		内線	285-9041
事務事業名	14139 文書館管理運営事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021300 文化・芸術・交流活動の推進と継承											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100612 教育費・社会教育費・文書館費										
	事業	010000 文書館管理運営事業										
事業目的						事業概要・効果						
須坂市の歴史資料として重要な非現用公文書や古文書等を収集・保存し、市民の財産として後世に伝えるとともに公開して、市民への説明責任及び市の適切な行政運営に資すると共に、文化の振興に資する						須坂市文書館において、保存年限が経過した非現用行政文書を選別・収集し、整理・保存するとともに一般の閲覧等に供する。また、地域の古文書等を収集し、目録整備・保存を行い、閲覧等に供する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
文書等の公開活用とともに個人等所蔵の古文書収集・整理目録化を通じて資料散逸を防いだ。	非現用公文書及び個人等所蔵の古文書を収集・整理目録化を行い、文書等の公開活用とともに史資料の散逸を防ぐ。また、収集史料の紹介を冊子、展示により行った。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・非現用公文書及び古文書等の収集・整理・保存・公開 ・古文書を解読できる人材の育成 ・収集史料の展示公開

指標名	文書館来館者数				
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標		220	240	260
	実績	229	208		
指標選定の理由	2021年度で設置から4年が経過する新しい施設であるので、まず存在を知り、資料収集や学びの場として認識をしてもらう必要がある。				
最終年度目標の根拠	これまでの実績を鑑みて設定 2022年度を基準に10%ずつ増				
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		11,152	11,542
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	89
一般財源		11,152	11,453
人員数(人)	正規職員	0.1	0.1
	会計年度(フル)	2.0	2.0
	会計年度(パート)	2.0	4.0
人員コスト	正規職員	695.8	695.8
	会計年度(フル)	7,008.0	7,008.0
	会計年度(パート)	3,256.0	6,512.0
	計	10,959.8	14,215.8
市民一人当たりの経費		0.4	0.5
総額		22,111.8	25,757.8

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	56	謝礼56
10節 需用費	874	事務用消耗品167 燃料費15 食糧費(来客用お茶)2、文書目録印刷690
12節 委託費	704	施設警備保障委託336、コピー機保守点検68、紙史料裏打ち業務300
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3	県史料協負担金3
その他	9,515	職員人件費(給料、報酬、手当)7,857、共済費1,304、旅費153、役務費179、機器賃借料22

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	40	謝礼40
10節 需用費	990	消耗品費163 燃料費15 食糧費3 印刷製本費759 修繕料50
12節 委託費	346	警備保障委託料346
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	3	県史協負担金3
その他	10,163	職員人件費(給料、報酬、手当)8,273、共済費1,313、旅費194、役務費185、機器賃借料189、その他9

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた行政の推進及び説明責任を果たすため、保存期限を過ぎた行政文書についても必要なものは保存・公開していくことが大勢つである。 公文書等の管理に関する法律第34条で歴史資料として重要な公文書の適正な保存などは地方自治体の努力義務とされている。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 地域史料として重要な古文書の滅失の防止及び保存年限が過ぎた重要な行政文書の保存に役立っている。 歴史愛好家等の地域史研究に役立っている。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 現状よりの経費削減は難しい。 	

振り返り(決算年度の取組み課題)

- 古文書を時代背景なども含めて解読できる人材の確保が難しい。古文書講座を始めたが、育成にはそれなりの時間がかかる。解読ソフトが登場してきているので、有効か検証を進める。
- 古文書類に関しての利用などはあるが、移管行政文書の利用がされていないため、市民に刈るように向けた周知を進める必要がある。

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
設置して5年が慶賀するが、博物館・図書館に比べ認知度が低いので存在及び事業を広く知ってもらい、活用を促す必要がある。		古文書の収集保管、活用をさらに博物館等と連携して進めていく必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	関野勝仁
	全体計画			経費区分	-	内線	3625
事務事業名	4322 体育施設管理事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021400 スポーツ活動の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費					
	事業	010000 体育施設管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
市民の体育・スポーツのニーズに対応した体育施設の貸し出し及び施設整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりの向上を図る。				体育施設の使用予約受付、調整等を実施し、市民、市外からの合宿・大会等に貸し出し及び施設の適切な管理、整備を行い、スポーツの振興と健康・体力づくりを進める。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
体育施設修繕料 8,948千円 シルバー人材センター施設管理業務委託15,092千円 施設管理委託料17,670千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務	体育施設修繕料 6,013千円 シルバー人材センター施設管理業務委託13,502千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
体育施設修繕料 7,265千円 シルバー人材センター施設管理業務委託17,632千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務	体育施設修繕料 9,000千円 シルバー人材センター施設管理業務委託23,000千円 体育施設の管理運営 体育施設利用受付及び料金徴収業務
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	市民1人あたりのスポーツ施設利用回数						
算式						単位	回
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	6	6	6	6	6	
	実績						
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるため施設利用率を高める						
最終年度目標の根拠	2019年度の体育施設の人口一人あたりの使用回数が5.5回であることから利用回数を高くするために6回と目標を設定して取り組むこととした						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		53,946	63,682
特定財源	国庫支出金	1,993	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	10,131	11,700
一般財源		41,822	51,982
人員数(人)	正規職員	0.9	1.0
	会計年度(フル)	2.9	2.0
	会計年度(パート)	0.2	1.0
人員コスト	正規職員	6,262.2	6,958.0
	会計年度(フル)	10,161.6	7,008.0
	会計年度(パート)	325.6	1,628.0
	計	16,749.4	15,594.0
市民一人当たりの経費		1.4	1.5
総額		70,695.4	79,276.0

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	20,231	消耗品費909、燃料費910、体育施設電気料 9,482、上下水道料 1,517、修繕料7,265 印刷製本費89、ガス57、医薬材料費5
12節 委託費	20,586	除雪委託料306、警備保障委託33、電気保安業務委託料 403、施設整備委託料 2,049、シルバー人材センター施設管理業務委託料 17,632、他164
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	13,129	会計年度任用職員報酬5,664、同手当864、同社会保険料1,045、土地借上料2,403、原材料費492、備品購入費159、手数料1,118、他1,384

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	22,171	消耗品869、燃料費910、体育施設電気料 9,441、上下水道料 1,777、修繕料 9,000、印刷製本費88、ガス66、医薬材料費20
12節 委託費	26,356	除雪委託料300、電気保安業務委託料403、施設整備委託料2,450、シルバー人材センター施設管理業務委託料23,000、他203
14節 工事請負費	1,034	米持マレットゴルフ場施設解体工事1,034
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	14,121	会計年度任用職員報酬等6,212、同期末手当1,217、同保険料190、土地借上料1,241、原材料費1,000、備品購入費174、手数料1,467 他2,620

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	事故防止の観点から老朽化した設備の計画的な修繕等が必要です。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	有効性については、何れの項目も現状維持	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 北部運動広場については、人工芝の敷設、サッカーゴール購入が完了し、冬季間の使用を可能としたため使用料収入の増加が見込めそうです。 社会体育施設用地の土地賃借料は、2023年6月に米持マレットゴルフ場を閉鎖することと松川マレットゴルフ場の賃借料の見直しを行いました。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）

<ul style="list-style-type: none"> 施設整備の要望はあるもののコストが過大であるため使用料の見直しが必要です。 福島スポーツ広場の土地賃借料もコスト削減が必要です。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

施設に対する要望が多くあるが、安全面を最優先に事業を進めたい。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

スポーツ施設は、利用度、充実要望の高い施設であり、防災の観点からも施設管理は重要

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	関野勝仁
全体計画	令和 4年度 ~ 令和 6年度			経費区分	実施計画事業費			内線	3625		
事務事業名	10589 体育施設整備事業										
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課										
施 策	04021400 スポーツ活動の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100702 教育費・保健体育費・体育施設費									
	事業	980000 体育施設整備事業									
事業目的						事業概要・効果					
安心安全に体育施設を使用してもらうために施設の充実を図る。						安心安全に体育施設を使用してもらうためにバスケットゴール等の改修を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
柔剣道場耐震補強等工事設計 6,248千円 北部運動広場人工芝等工事測量、設計 990千円 体育センター耐震補強等工事 149,710千円 柔剣道場耐震補強等工事 45,760千円	北部運動広場人工芝等工事 178,145千円 柔剣道場耐震補強工事 繰越 98,285千円 " 設計監理 繰越 5,819千円
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
北部運動広場観覧席 1,100千円	特になし
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		12,639	0
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	11,001	0
一般財源		1,638	0
人員数(人)	正規職員	0.4	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,783.2	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	2,783.2	0.0
市民一人当たりの経費		0.3	0.0
総額		15,422.2	0.0

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	11,547	体育施設トイレ改修工事6,960、北部体育館防球足場1,003、防球ネット設置工事3,300、北部防球ネット284
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	1,092	備品購入費1,092

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 北部体育館と人工芝グラウンドの間に防球ネットを設置が完了しました。 新型コロナウイルス感染症対策として社会体育施設のトイレの自動水栓化、ウォシュレット化が完了しました。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	北部体育館、北部運動広場の使用者両方の安全確保ができました。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	スポーツ振興くじ助成金など資金確保に努めます。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ臨時交付金を利用したトイレ改修工事は、計画的に実施できた。 北部体育館のバスケットゴール交換に関してスポーツ振興くじ助成金の申請を忘れずに実施すること。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント	
臥竜公園庭球場の人工芝の張替えなど計画的に施設を整備する必要がある。	

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
2次評価コメント	
施設整備は、防災の観点からも有効	

外部評価

次年度以降の方向性
外部評価コメント

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	関野勝仁
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3625
事務事業名	4324 生涯スポーツ事業						
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課						
施 策	04021400 スポーツ活動の充実						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費					
	事業	020000 生涯スポーツ事業					
事業目的				事業概要・効果			
市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図る。				学校体育施設の開放や各種大会を主催し、スポーツの普及発展と市民の交流、健康増進・相互の親睦、生涯スポーツを推進する。 障がい者スポーツイベントを開催し、運動機会の創出と障がい者への理解を深める。 子ども向けスポーツ教室を引き続き須坂市スポーツ協会に委託する。 長野地域連携中枢都市圏事業に参加し、ホームタウン活性化、スポーツ拠点づくり、地域密着プロスポーツ応援を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
学校開放の実施、各種大会等を主催。全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ委託、リワイルドニンジャスノーハイランドのリフト券助成、各団体への負担金交付	各種スポーツ大会を主催、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成などを行う
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
各種スポーツ大会を主催、障がい者スポーツ教室、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、トランポリン普及事業、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成などを行う	各種スポーツ大会を主催、障がい者スポーツ教室、学校開放の実施、全国大会出場者に激励金を交付、キッズスポーツ教室委託、トランポリン普及事業、パルセイロ応援バス等の長野地域連携中枢都市圏スポーツ交流事業、スキー場リフト券助成などを行う
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	日頃スポーツをする・観る・関わっている人の割合				
算式					単位 %
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	40	40	40	40
	実績				
指標選定の理由	スポーツを通じ、健康で生き生きと学び挑戦する心を育み、地域の連帯感や活力が醸成されるまちを目指す				
最終年度目標の根拠	平成26年度に市民意識調査で週1回以上スポーツをしている人の割合が31%とした結果からスポーツをする人の他にスポーツを観る、関わっている人の割合を加え9%増の40%として目標を定めて取り組むこととした				
指標名	子ども向けスポーツ教室の参加人数				
算式					単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標	1,400	1,400	1,400	1,400
	実績				
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるため子どもが参加するスポーツ教室の参加者を増やす				
最終年度目標の根拠	子どもの頃からスポーツに親しむきっかけづくりを行い、継続してスポーツに親しんでもらうために委託しているキッズスポーツの述べ参加人数を2019年度1356人を募集人員の関係もあるが1400人と設定した				
指標名					
算式					単位 人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		36,474	40,306
特定財源	国庫支出金	298	2,990
	都道府県支出金	0	0
	地方債	7,300	0
	その他	4,057	4,947
一般財源		24,819	32,369
人員数(人)	正規職員	1.0	2.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.9	0.9
人員コスト	正規職員	6,958.0	14,611.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,465.2	1,465.2
	計	8,423.2	16,077.0
市民一人当たりの経費		0.9	1.1
総額		44,897.2	56,383.0

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	936	スポーツ教室指導者謝礼690、全国大会出場激励金246
10節 需用費	680	消耗品456、印刷製本費154 食糧費9、修繕量61
12節 委託費	2,466	子ども向けスポーツ教室委託料1,644、パルセイロ応援バス224、北部運動広場イベント598
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	28,855	須高行政事務組合負担金(プール)26,305、信州須坂ハーフマラソン負担金0、スキー場リフト負担金 2,550
その他	3,537	会計年度任用職員賃金1,496、同職員手当195、同社会保険料275、清掃用具借上207、機器賃借料513、備品購入415、全中バス借上319、他117

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,231	スポーツ教室等指導者謝礼 941、全国大会参加者激励金 290
10節 需用費	845	消耗品 511、印刷製本費 76、修繕料116、食糧費142
12節 委託費	2,848	子ども向けスポーツ教室委託料1,694、パルセイロ応援バス事業事務委託224、スポーツ交流イベント930
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	31,542	須高行政事務組合教育費負担金(プール)22,892、マラソン負担金 5,600、スキー場リフト負担金 2,550、日中友好卓球大会負担金500
その他	3,840	会計年度任用職員報酬1,533、同期末手当318、同保険料288、郵便料40、清掃用具借上料218、機器賃借料518、備品購入費332、他593

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか 	高い
評価コメント	新型コロナウイルス感染症対策も一段落し、各種大会の再開要望など必要性は高いと感じています。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	学校開放事業では、施設の修繕等で使用者のニーズに対応していると思います。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	新たな取り組みとして、マラソン大会の財源として、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用しています。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

5年ぶりのマラソン大会実施、国民スポーツ大会を見据えたトランポリン競技の普及が早急な課題です。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
引き続きスポーツの普及を図るほか、2028年度に開催される国民スポーツ大会の準備をすすめる。		スポーツに親しむ施策とスポーツ活動継続への支援が必要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	関野勝仁
	全体計画						経費区分		-		内線	3628
事務事業名	4325 体育団体等助成事業											
所 属	130500 社会共創部・文化スポーツ課											
施 策	04021400 スポーツ活動の充実											
会計	01 一般会計											
科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費											
事業	030000 体育団体等助成事業											
事業目的						事業概要・効果						
体育団体の活動を支援し、スポーツの振興に努める						須坂市スポーツ協会を通して協会に加盟する各種スポーツの競技団体の育成、選手の競技力の向上、大会の開催を支援し、スポーツの振興を図る。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,492千円 各スポーツ団体に補助金交付3,948千円	須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,569 各スポーツ団体に補助金を交付4,823 年2回開催される駅伝大会に負担金を交付150
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,723 各スポーツ団体に補助金を交付5,351 年2回開催される駅伝大会に負担金を交付188	須坂市スポーツ協会にスポーツ振興委託6,840 各スポーツ団体に補助金を交付4,904 年2回開催される駅伝大会に負担金を交付350
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	スポーツ協会構成人数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	4,200	4,200	4,200	4,200		
	実績	3,703					
指標選定の理由	日頃スポーツをする、観る、関わっている人の割合を高めるためスポーツ協会に加入している団体の構成人数を増やす						
最終年度目標の根拠	2019年度のスポーツ協会加盟団体の構成人数は4172人となっていることから4200人として目標を設定して取り組むこととした						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 予算
事業費		12,262	13,484
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		12,262	13,484
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,391.6	1,391.6
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	1,391.6	1,391.6
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		13,653.6	14,875.6

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,723	須坂市スポーツ協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託(スポーツ振興委託料)6,723
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	5,539	須坂市スポーツ協会補助金5,351、各種負担金188
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,840	須坂市スポーツ協会に加盟する競技団体との調整、競技力向上事業等を委託（スポーツ振興委託料）6,840
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	6,644	須坂市スポーツ協会に対する大会開催負担金350、補助金6,294
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	須坂市スポーツは協会及び加盟団体により様々なスポーツの振興が図られている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	指導者研修会など実施されている。 新型コロナウイルスの影響により活動が制限されている中、必要に感染対策等実を行い大会等実施されている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	引き続き効率的に事業実施したい。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

少子化高齢化により、スポーツ協会加盟団体数及びその会員数が減少傾向にある

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

引き続きスポーツ協会及びスポーツ団体を支援していく。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

引き続き、体育団体の活動を支援し、スポーツ振興に努める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント